

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	八尾市	代表者名	大松 桂右		
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	072-924-9860		
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	上田紳一朗	連絡先E-mail	jyouhou@city.yao.osaka.jp
住所	581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米田 宗義
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"><li>派遣1日目の打ち合わせ内容をもとに、幹部職員向けトップセミナー講義資料を作成くださり、また八尾市の事情を汲み取って、講義資料の修正をご快諾いただいた。具体的には、地域DXの一環としてスマートシティについても触れていただきつつ、政策的な判断の観点から、政策推進課との役割分担などについても講義スライドを追加いただけることになり、更なるDX推進の仕掛けづくりにもご協力いただいた</li><li>デジタル人材育成の相談においては、DX推進リーダーをどのように選んでいくべきかについて、米田先生が支援された福知山市の事例や総務省の取りまとめた他団体取組事例をご紹介くださり、計画策定にあたって大変参考になった</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年10月16日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	15時00分	80
			活動時間（分）	220	
3-2. 派遣場所	会場名	市役所	最寄駅	近鉄八尾駅	
	所在地	八尾市本町一丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	デジタル戦略課職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"><li>DX人材育成の方向性の整理や職級ごとに求められる能力を体系化し、更なる研修メニューの充実を図る必要がある。また、部局マネジメントを担当する幹部職員が、DXを推進する上でどのような役割を果たしていくべきか理解されていない</li><li>DX人材育成の方向性の整理や職級ごとに求められる能力を体系化し、更なる研修メニューの充実を図る必要</li></ul>	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"><li>幹部職員がDXの重要性を理解し、DXを推進する上でどのような役割を担うべきか理解し、行動する</li><li>デジタル人材育成の考え方を八尾市の人事制度や組織体制を踏まえて整理する</li></ul>	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"><li>DX人材育成の研修メニューを作るにあたって、JLIS動画研修の扱いと、さらに踏み込んだDX対面研修の必要性について助言をいただいた。具体的には、人材育成部門が主催する全庁的な研修として入り口部分としてJLISのeラーニング、オンラインセミナーを活用し、DXにアクションをつなげていくためには、階層別にあわせた研修メニューが有効であり、さらに意欲のある職員へのワークショップ型のフォローアップ研修が有効であるとのコメントをいただいた</li></ul>	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進リーダーの選定方法を検討しているが、奈良県宇陀市や京都府福知山市、福島県会津若松市の事例をご紹介いただき、八尾市版の選定方法や研修方法について方向性を提示いただいた。具体的には、八尾市の情報システム管理主任や行政改革推進員、ICT推進サポーター（過去に情報部門に所属した職員のうち手上げ制）、標準化所管担当などから手上げ制でリーダーを募集することや、所属に1人必ずリーダーがいなくても、まずリーダーの所属業務をDX推進したのち、周りの所管へのサポートにまわるようにすればよい。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ・階層別DX研修のメニュー案	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXトップセミナーの講義内容（派遣3日目までに完成予定）</li> </ul>	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 申請者である情報部門への事業支援を行っていただいたため、本報告書自体がアンケートに代るものであるため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職級ごとに求められる能力を定め、業務改善力やICT技術力などの育成体系に応じた研修メニューを設定し、職員の能力・資質向上が図られ、一般行政職員のデジタルリテラシー向上やDX推進リーダーの育成を行う。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

